

25小児医療センター 1・6・12階ほか照明設備改修工事

(工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする)

図面番号	図面名称	縮尺		図面番号	図面名称	縮尺	
		A1版	A3版			A1版	A3版
	表紙・図面リスト	NS	NS	E-21	改修前 M2階 電灯設備図	1/200	1/400
E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	NS	NS	E-22	改修前 6階 電灯設備図	1/200	1/400
E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	NS	NS	E-23	改修前 12階 電灯設備図	1/200	1/400
E-03	案内図・配置図	1/800	1/1600	E-24	改修前 1階 防災照明設備図	1/200	1/400
E-04	凡例・注記・既設照明器具リスト	NS	NS	E-25	改修前 M2階 防災照明設備図	1/200	1/400
E-05	改修後 照明器具姿図(1)	NS	NS	E-26	改修前 6階 防災照明設備図	1/200	1/400
E-06	改修後 照明器具姿図(2)	NS	NS	E-27	改修前 12階 防災照明設備図	1/200	1/400
E-07	改修後 1階 電灯設備図	1/200	1/400	E-28	改修前 階段3 電灯設備図	1/100	1/200
E-08	改修後 M2階 電灯設備図	1/200	1/400	E-29	改修前 階段4 電灯設備図	1/100	1/200
E-09	改修後 6階 電灯設備図	1/200	1/400	E-30	改修前 階段6 電灯設備図	1/100	1/200
E-10	改修後 12階 電灯設備図	1/200	1/400	E-31	改修前 階段7 電灯設備図	1/100	1/200
E-11	改修後 1階 防災照明設備図	1/200	1/400				
E-12	改修後 6階 防災照明設備図	1/200	1/400				
E-13	改修後 12階 防災照明設備図	1/200	1/400				
E-14	改修後 12階 防災照明設備図	1/200	1/400				
E-15	改修後 階段3 電灯設備図	1/100	1/200				
E-16	改修後 階段4 電灯設備図	1/100	1/200				
E-17	改修後 階段6 電灯設備図	1/100	1/200				
E-18	改修後 階段7 電灯設備図	1/100	1/200				
E-19	改修前後 階段1・階段14 平面図	1/100	1/200				
E-20	改修前 1階 電灯設備図	1/200	1/400				

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1.1 工事名 2.5 小児医療センター 1・6・12 階ほか照明設備改修工事
1.2 工事場所 埼玉県さいたま市中央区新都心一番地2
1.3 工期 短期 令和9年3月31日まで
現場施工期間は、令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

1.4 工事科目 (印の付いたものを適用する)

○ 電気設備	・ テレビ共同受信設備 ・ 動力設備 ・ 電気設備 ・ 電気保安技術者 ・ 受電設備 ・ 電力計量設備 ・ 発電設備 ・ 構内情報通信網設備 ・ 構内交換設備 ・ 情報表示設備 ・ 映像・音響設備 ・ 拡声設備 (非常放送設備) ・ 誘導支援、呼出し設備
--------	---

1.5 指定部分 ○ 無 有 (工期: 令和年月日)

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、(①現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間・令和年月日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中止
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要
病院本棟 S.R.C 造 + S 造 地上 13 階、地下 2 階、塔屋 1 階

1.8 工事概要

病院本棟 1 階、M2 階、6 階、12 階、階段 1、階段 3、階段 4、階段 6、階段 7、階段 14 の一般照明器具及び階段通路誘導灯を LED 照明器具に更新する。

1.9 同時期発注の関連工事 建築工事 機械設備工事

2. 工事仕様

2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という)、国土交通省大臣官房官房長官部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築設備工事標準規格 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という)、及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工工事において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承認を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調査の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づく特定調査品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調査する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日にに関する法律 (SG3第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが※できる。・できない。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で・設ける (規模) ※設けない
7 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後 14 日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※適用する・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3 二つ折り製本 4 部とする。
10 発生材処理	引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事・別途) (1) 引渡しを要するもの() (2) 買取処分をするもの(銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの(蛍光管) 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物() ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

11 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で融融アメキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。				
12 鍵	盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。				
13 地中電線路	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか記述及び図面特記による。 <table border="1" data-bbox="1111 258 1524 348"> <tr> <th>敷き均し土</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>良質土</td> <td>硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆管 (PLP)</td> </tr> </table>	敷き均し土	管種別	良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆管 (PLP)
敷き均し土	管種別				
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆管 (PLP)				
14 回路の種別 行先の表示	(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは、表面特記による。 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。 ハンドホール・ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。				
15 電線の接続	湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付たうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をてもよい。ただし、接続はボックス内とする。				
16 電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし法としてもよい。				
17 接地工事	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路の D 種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／赤色で区別する。				
18 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。				
19 再生砂・再生碎石 再生アスコン使用	※再生砂などは使用できない。 ・監督員の承諾を得て、再生砂などを表面層を除く箇所に使用できる。 再生砂使用に先立ち、1 購入あたり 1 段体の六価クロム溶出試験を行い土壤の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。				
20 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」(独立行政法人建築研究所監修) を参考とする。				

25 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建築調査者により実施し、アスベスト使用有無に問わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
26 電気保安技術者	(a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。 (b) 電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を監督員に提出して承諾を受ける。 (1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、一級電気工事施工監理技術者又はこれらと同等の知識及び経験を有する者。 (2) 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気主任技術者の資格を有する者。 (c) 電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人が兼任できる。 (d) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。 (e) 電気主任技術者を別途配置している電気工作物に係る工事においては、電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。
27 工事用電力設備の保安責任者	(a) 受注者は、工事用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有資格者を定め、監督員に報告する。 (b) 保安責任者は、前項 27 の電気保安技術者が兼任できる。 (c) 保安責任者は、適切な保安業務を行う。
28 その他	(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 (6) 改修工事を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 (9) 特記なき振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

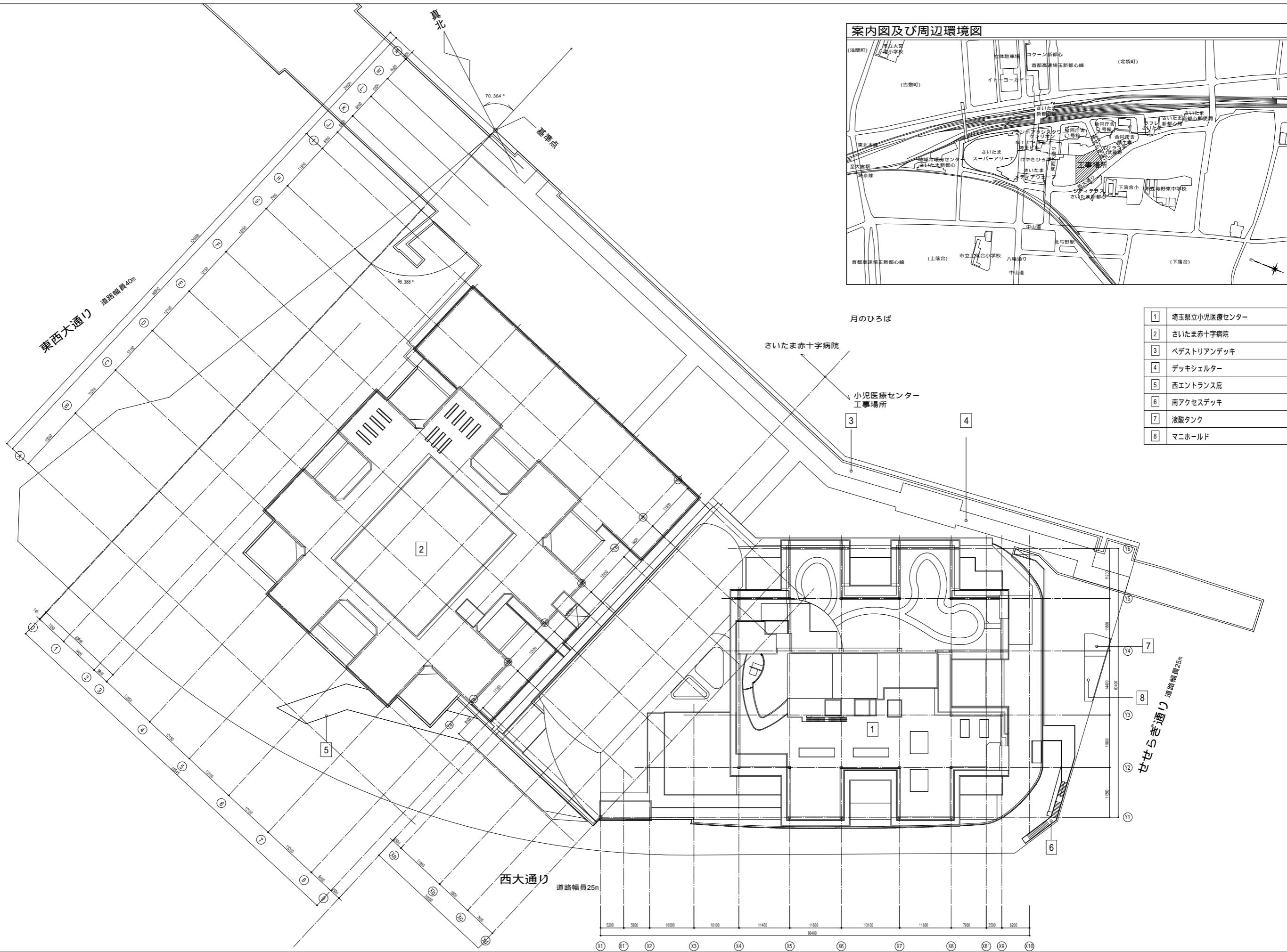
項目	特記事項
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 重油燃焼発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火警報警設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合管内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官房長官部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ
壁付、柱掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

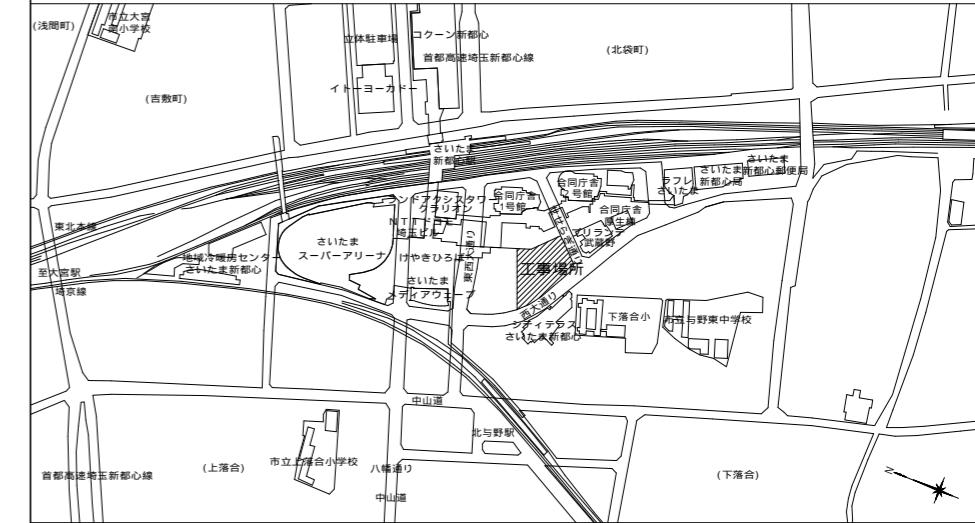
名 称	測 点	取付高さ (mm)
		一般 県営住宅
スイッチ (一般)	床面～中心	1,300 1,200
〃 (身体障害者用)	〃	1,100 1,000
〃 (人感センサー切換用)	〃	2,000 2,000
コンセント、電話用アダプタ、直列1コト (一般)	〃	300 400
〃 (和室)	〃	150 200
防水型コンセント	台上～中心	500 500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下) 1,500 (上端1,900以下) 1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	〃	900 900
復帰ボタン (〃)	〃	1,800 1,800
廊下表示灯 (〃)	〃	2,000 2,000
端子盤	〃	(上端1,900以下) 1,500

名 称	測 点	取付高さ (mm)
		一般 県営住宅
スイッチ (一般)	床面～中心	1,300 1,200
〃 (身体障害者用)	〃	1,100 1,000
〃 (人感センサー切換用)	〃	2,000 2,000
コンセント、電話用アダプタ、直列1コト (一般)	〃	300 400
〃 (和室)	〃	150 200
防水型コンセント	台上～中心	500 500</td

環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 アスベスト処理工事 一般共通事項 2 アスベスト含有分析 調査 3 アスベスト粉じん 濃度測定	<p>留意事項</p> <p>1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。</p> <p>2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。</p> <p>3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官営施設部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]</p> <p>・行う（下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 定性分析</td> <td>・定量分析</td> </tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示</p> <p>分析対象</p> <p>※ アスベスト 6種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）</p> <p>調査方法・分析方法</p> <p>※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。</p> <p>分析結果については、監督員に提出すること。</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <p>・行う（測定名及び測定点は下表による）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点数（各処理作業室ごと）</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レバ1</td> <td>レバ2</td> <td>レバ3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定1 処理作業前</td> <td>処理作業室内 ※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定2 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定3 処理作業中</td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定4 セキュリティーゾーン入口</td> <td>各1点 空気の流れを確認</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定5 負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は) 各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定6 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定7 処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td>各2点 (レバ3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定8 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定9 処理作業後 (シート撤去後 1週間以上)</td> <td>各2点 (レバ3は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定10 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の纖維状粒子測定方法 第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノブレンジャーの直径</td> <td>25 mm</td> <td>47 mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> <tr> <td>報告書の作成（記録する項目）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ア 测定結果</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ 测定時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ 测定位置（測定高さとともに図面上に記載）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ マンディング方法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>カ 顕微鏡視野面積、計数視野数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）	※ 定性分析	・定量分析	適用	測定名	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考	レバ1	レバ2	レバ3				○	○	・	測定1 処理作業前	処理作業室内 ※各2点・各3点		○	○	・	測定2 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定3 処理作業中	各2点		○	・	・	測定4 セキュリティーゾーン入口	各1点 空気の流れを確認		○	・	・	測定5 負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は) 各1点	除じん装置の性能確認		○	○	・	測定6 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		○	○	・	測定7 処理作業後 (隔離シート撤去前)	各2点 (レバ3は1点)		○	○	・	測定8 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点		・	・	・	測定9 処理作業後 (シート撤去後 1週間以上)	各2点 (レバ3は1点)		・	・	・	測定10 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点			測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			ノブレンジャーの直径	25 mm	47 mm		試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野			計数アスベスト	直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	報告書の作成（記録する項目）				ア 测定結果				イ 测定時間				ウ 测定位置（測定高さとともに図面上に記載）				エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）				オ マンディング方法				カ 顕微鏡視野面積、計数視野数				キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向				ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真				<p>4 7アスベスト含有吹き付け材の撤去（レベル1）</p> <p>アスベスト含有吹き付け材の除去 ・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹き付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ（mm）</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 7アスベスト含有保温材等の撤去（レベル2）</p> <p>アスベスト含有保温材の除去 ・行う 作業上の隔離 ・行う ・行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ（mm）</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 7アスベスト含有成形板類の撤去（レベル3）</p> <p>1 アスベスト含有成形板の除去 ・行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名（製品名）</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 非石綿部での切断による除去 ・行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）</td> <td>※ 図示</td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材付配管</td> <td>※ 図示</td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有配管フランジパッキン</td> <td>※ 図示</td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。</p> <p>＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー</p> <pre> graph TD A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査"] --> B["可能性なし"] B --> C["可能性あり・不明"] C --> D["(2) 現場目視による調査 目視調査（建材の確認）"] D --> E["可能性なし"] E --> F["可能性あり・不明"] F --> G["分析を実施しない場合"] F --> H["分析を実施する場合"] G --> I["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"] H --> I I --> J["石綿含有とみなす"] I --> K["石綿含有0.1%を超えてると判断"] I --> L["石綿含有0.1%以下と判断"] J --> M["石綿使用あり・届出要件確認・届出"] K --> M L --> N["石綿使用なし"] </pre>	材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲	※ 図示	・								材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲	※ 図示	・								材料名（製品名）	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲	・	※ 図示	・	材料名	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲	・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	※ 図示	・撤去範囲すべて	・石綿含有保温材付配管	※ 図示	・撤去範囲すべて	・石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示	・撤去範囲すべて		※ 図示	・撤去範囲すべて															
材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																																																																																																		
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																		
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																		
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																		
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																		
適用	測定名	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考																																																																																																																																																																																																														
レバ1	レバ2	レバ3																																																																																																																																																																																																																	
○	○	・	測定1 処理作業前	処理作業室内 ※各2点・各3点																																																																																																																																																																																																															
○	○	・	測定2 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																																																															
・	・	・	測定3 処理作業中	各2点																																																																																																																																																																																																															
○	・	・	測定4 セキュリティーゾーン入口	各1点 空気の流れを確認																																																																																																																																																																																																															
○	・	・	測定5 負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合は) 各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																																																																															
○	○	・	測定6 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																																																															
○	○	・	測定7 処理作業後 (隔離シート撤去前)	各2点 (レバ3は1点)																																																																																																																																																																																																															
○	○	・	測定8 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																																																															
・	・	・	測定9 処理作業後 (シート撤去後 1週間以上)	各2点 (レバ3は1点)																																																																																																																																																																																																															
・	・	・	測定10 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																																																															
	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5																																																																																																																																																																																																																
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																																		
ノブレンジャーの直径	25 mm	47 mm																																																																																																																																																																																																																	
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																																																																																																
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																																																																																																																
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シウ酸ジエチル法																																																																																																																																																																																																																		
計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数 50視野																																																																																																																																																																																																																		
計数アスベスト	直径（幅）3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3:1以上の繊維状物質																																																																																																																																																																																																																		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																																																																																																
報告書の作成（記録する項目）																																																																																																																																																																																																																			
ア 测定結果																																																																																																																																																																																																																			
イ 测定時間																																																																																																																																																																																																																			
ウ 测定位置（測定高さとともに図面上に記載）																																																																																																																																																																																																																			
エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）																																																																																																																																																																																																																			
オ マンディング方法																																																																																																																																																																																																																			
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数																																																																																																																																																																																																																			
キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向																																																																																																																																																																																																																			
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真																																																																																																																																																																																																																			
材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																	
※ 図示	・																																																																																																																																																																																																																		
材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																	
※ 図示	・																																																																																																																																																																																																																		
材料名（製品名）	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																	
・	※ 図示	・																																																																																																																																																																																																																	
・	※ 図示	・																																																																																																																																																																																																																	
・	※ 図示	・																																																																																																																																																																																																																	
・	※ 図示	・																																																																																																																																																																																																																	
材料名	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																	
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）	※ 図示	・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																	
・石綿含有保温材付配管	※ 図示	・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																	
・石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示	・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																	
	※ 図示	・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																	
<p>アスベスト含有吹き付け材の除去 ・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ</p>																																																																																																																																																																																																																			



案内図及び周辺環境図



- | | |
|---|--------------|
| 1 | 埼玉県立小児医療センター |
| 2 | さいたま赤十字病院 |
| 3 | ペデストリアンデッキ |
| 4 | デッキシェルター |
| 5 | 西エントランス庇 |
| 6 | 南アクセスデッキ |
| 7 | 液酸タンク |
| 8 | マニホールド |

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	山 口	岩 波	藤 村
-----------------------------	-----	-----	-----

担当 一級建築土事務所
中村 晃設備設計事務所

担当 一級建築士事務所
... 業務設計設備

照合 縦 尺 A1:1/400 A3:1/800 工事名称 25 小兒医療センター病院本棟 照明設備改修工事

設計年月日 平 7 12 26	図面名称 案内図・配置図
--------------------	-----------------

図面番号

改修前		
凡 例		
記 号	名 称	備 考
○	照明器具 1灯用 天井付	はAC/GC回路
○	照明器具 多灯用 天井付	はAC/GC回路
○	照明器具 1灯用 壁付	はAC/GC回路
○	照明器具 多灯用 壁付	はAC/GC回路
○	照明器具 ダウンライト 天井付	はAC/GC回路
●	非常照明	
●	誘導灯 天井付 電池内蔵	
●	誘導灯 壁付 電池内蔵	

注 記		
(1) 工事は、1階、M2階、6階、12階、階段1、階段3、階段4、階段6、階段7、階段14を対象とする。		
(2) 本工事に際し、既設現況を調査し発注者と十分協議・検討の上施工に当たること。尚、既設機器・配線の保護は勿論、機能的に支障のないよう注意するとともに復旧は完全に行うこと。		
(3) 図中、Xは撤去とし、○は現況のまま再使用とする。		
(4) LED器具、LED誘導灯は対象外とする。		

改修後		
凡 例		
記 号	名 称	備 考
○	照明器具 LED 天井付	はAC/GC回路
○	照明器具 LED 天井付	はAC/GC回路
○	照明器具 LED 壁付	はAC/GC回路
○	照明器具 LED 壁付	はAC/GC回路
○	照明器具 LED ダウンライト 天井付	はAC/GC回路
●	非常照明 LED	
●	誘導灯 天井付 電池内蔵	
●	誘導灯 壁付 電池内蔵	

注 記		
(1) 工事は、1階、M2階、6階、12階、階段1、階段3、階段4、階段6、階段7、階段14を対象とする。		
(2) 本工事に際し、既設現況を調査し発注者と十分協議・検討の上施工に当たること。尚、既設機器・配線の保護は勿論、機能的に支障のないよう注意するとともに復旧は完全に行うこと。		
(3) 図中、○は現況のまま再使用とする。		
(4) 埋込照明器具を設置するにあたり既設開口部が合わない場合は、リニューアルプレート等で対応すること。		
(5) LED器具、LED誘導灯は対象外とする。		

既設照明器具リスト		
照明器具番号	形状	埋込寸法
A 3 2 1	FHF32W×1 直付 反射笠	撤去
A 3 2 1 R S	FHF32W×1 直付 反射笠 センサー付	撤去
A 3 2 1 S	FHF32W×1 直付 反射笠 センサー付	撤去
A 3 2 1 W	FHF32W×1 直付 反射笠 防湿・防雨形	撤去
A 3 2 2 W	FHF32W×2 直付 反射笠 防湿・防雨形	撤去
A 3 2 1 L	LDL40W×1 直付 反射笠	撤去
B 3 2 1	FHF32W×1 直付 富士型	撤去
B 3 2 1 S	FHF32W×1 直付 富士型 センサー付	撤去
B 3 2 2	FHF32W×2 直付 富士型	撤去
B 3 2 2 W	FHF32W×2 直付 富士型 防湿・防雨形	撤去
B 3 2 1 L	LDL40W×1 直付 富士型	撤去
C 1 6 1	FHF16W×1 埋込 下面開放	150×626 撤去
C 3 2 1	FHF32W×1 埋込 下面開放	150×1235 撤去
C 3 2 1 X	FHF32W×1 埋込 下面開放 連続調光	150×1235 撤去
C 3 2 2	FHF32W×2 埋込 下面開放	220×1235 撤去
C 3 2 2 X	FHF32W×2 埋込 下面開放 連続調光	220×1235 撤去
C 3 2 1 L	LDL40W×1 埋込 下面開放	150×1235 撃去
C 3 2 2 L	LDL40W×2 埋込 下面開放	220×1235 撃去
D 3 2 1	FHF32W×1 埋込 下面パネル	150×1235 撃去
D 3 2 1 X	FHF32W×1 埋込 下面パネル 連続調光	150×1235 撃去
D 3 2 2	FHF32W×2 埋込 下面パネル	220×1235 撃去
D 3 2 2 C	FHF32W×2 埋込 下面パネル クリーンルーム用	220×1230 撃去
D 3 2 2 C L	LED一体型ベースライト 埋込 下面ガラス クリーンルーム用	220×1230 現況のまま
D 3 2 2 X	FHF32W×2 埋込 下面パネル 連続調光	220×1235 撃去
D 3 2 2 L	LDL40W×2 埋込 下面パネル	220×1235 撃去
E 4 5 4	LED 埋込 下面開放	600×600 現況のまま
F 3 2 4	LED 埋込 下面パネル	450×450 現況のまま
F 4 5 4	LED 埋込 下面パネル	600×600 現況のまま
L D 2 0 6	LED20.6W 埋込 下面パネル	現況のまま
L D 3 1 9	LED31.9W 埋込 下面パネル	現況のまま
L D 4 3 1	LED43.1W 埋込 下面パネル	現況のまま
N e	LED 直付 シーリング	現況のまま
T a	LED 直付 シーリング	現況のまま
T e	LED92W 直付 シーリング	現況のまま
U 1 9 X	FHF16W×1 直付 間接照明 調光形	撤去
U 3 7 X	FHF32W×1 直付 間接照明 調光形	撤去
V e A	FHF32W×1 直付 間接照明	撤去
Y e A	FHF32W×1 直付 間接照明	撤去
Y e B	FHF16W×1 直付 間接照明	撤去
Z 6 a	LED 埋込 表示灯 使用中	90×363 現況のまま
Z 6 b	LED 埋込 表示灯 照射中	90×363 現況のまま
k c	FHF32W×1 壁付 ベット灯	撤去
s	FL20W×1 直付 ウォールライト 防湿型・防雨型	撤去
s 改	LED電球 直付 プラケット 防湿型・防雨型	現況のまま
r 2 0 0	JD200W 直付 プラケット 非磁性体型	現況のまま
r 6 5	JD65W 直付 スポットライト 非磁性体型	現況のまま
A A 3 2 1	FHF32W×1 直付 防爆形器具	撤去
D L 1 a	LED 埋込 ダウンライト	125φ 現況のまま
D L 1 a 改	LED 埋込 ダウンライト ユニバーサル	125φ 現況のまま
D L 1 X	LED 埋込 ダウンライト	125φ 現況のまま
D L 1 a X	LED 埋込 ダウンライト	125φ 現況のまま
D L 1 b	LED 埋込 ダウンライト	125φ 現況のまま
D L 1 c	LED 埋込 ダウンライト	125φ 現況のまま
D L 1 s	LED 埋込 ダウンライト	150φ 現況のまま
D L 2 b	LED 埋込 ダウンライト	100φ 現況のまま
D L 7	LED 埋込 ダウンライト	100φ 現況のまま
D L 8	LED 埋込 ダウンライト	125φ 現況のまま
D L 9	LED 埋込 ダウンライト	125φ 現況のまま
D L 1 2	LED 埋込 ダウンライト ユニバーサル	125φ 現況のまま
D L 1 4	LED 埋込 ダウンライト	150φ 現況のまま
ア 4 5	JBD100V45W 埋込 非常照明 電源別置型	60φ 現況のまま
イ 6 6	LED6.6W 埋込 非常照明 電源別置型	60φ 現況のまま
ウ 3 0	ミニクリプトン電球60W 直付 非常照明 電源別置型 防雨・防湿形	現況のまま
エ 3 0	JBD45W 埋込 非常照明 電源別置型 クリーンルーム用	175φ 現況のまま
オ 3 0	JBD30W 埋込 非常照明 電源別置型 非磁性体型	125φ 現況のまま
ス 3 0	JBD75W 直付 非常照明 電源別置型	現況のまま
セ 4 0	JBD70W 直付 非常照明 電源別置型	現況のまま
ソ 4 0	JBD40W 埋込 非常照明 電源別置型	100φ 現況のまま
カ	LED 直付 避難口誘導灯 B級BL形 片面 電池内蔵	現況のまま
キ	LED 直付 避難口誘導灯 誘導音付加点滅形 B級BH形 片面 電池内蔵	現況のまま
ク 1	LED 直付 通路誘導灯 C級 片面 電池内蔵	現況のまま
ク 2	LED 直付 通路誘導灯 C級 両面 電池内蔵	現況のまま
ケ 1	LED 直付 通路誘導灯 B級BL形 片面 電池内蔵	現況のまま
ケ 2	LED 直付 通路誘導灯 B級BL形 両面 電池内蔵	現況のまま
サ	LED 直付 避難口誘導灯 長時間 B級BL形 片面 電池内蔵	現況のまま
シ W	LED 直付 避難口誘導灯 防湿・防雨形 B級BL形 片面 電池内蔵	現況のまま
ス 1	LED 直付 通路誘導灯 長時間 C級 片面 電池内蔵	現況のまま
ス 2	LED 直付 通路誘導灯 長時間 C級 両面 電池内蔵	現況のまま
ツ W	LED 直付 避難口誘導灯 長時間 防湿・防雨形 B級BL形 片面 電池内蔵	現況のまま
テ W	LED 直付 避難口誘導灯 防湿・防雨形 B級BL形 両面 電池内蔵	現況のまま
コ 3 2 1	FHF32W×1 直付 階段通路誘導灯 電源内蔵	撤去
コ 3 2 1 W P	FHF32W×1 直付 階段通路誘導灯 電源内蔵 防雨・防湿形	撤去

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮 尺 A1: NS A3: NS	工事名称 25小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
										設計年月日 R7.12.26	図面名称 凡例・注記・既設照明器具リスト	E-O 4

照明器具姿図

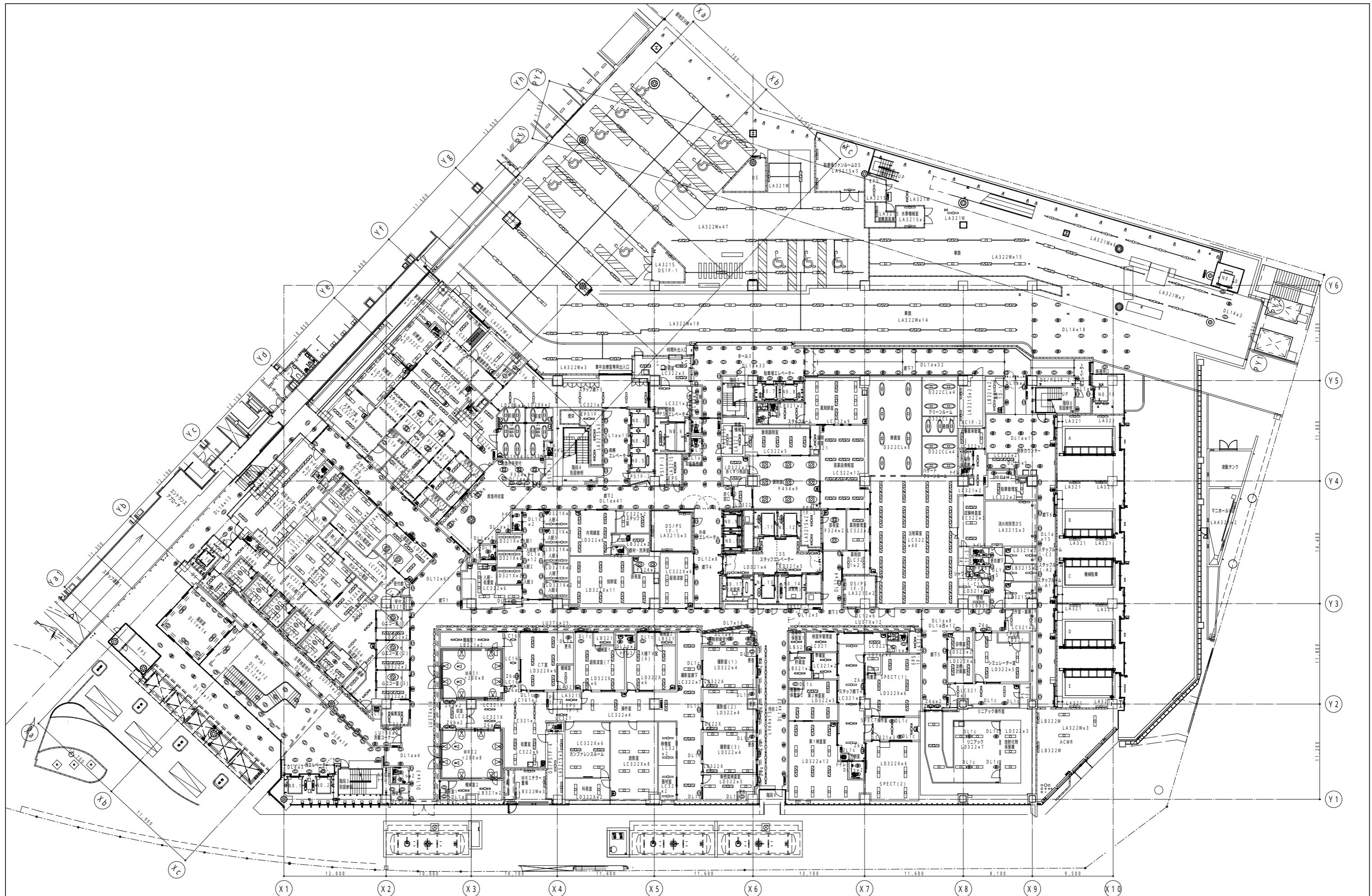
器具型番 LA321 LEDベースライト 直付 反射笠 HF32形1灯 高出力形	器具型番 LA321RS LEDベースライト 直付 片反射笠 人感センサー付 HF32形1灯 高出力形	器具型番 LA321S LEDベースライト 直付 片反射笠 人感センサー付 HF32形1灯 高出力形	器具型番 LA321W LEDベースライト 直付 反射笠 防湿・防雨形 SUS HF32形1灯 高出力形	器具型番 LA322W LEDベースライト 直付 反射笠 防湿・防雨形 SUS HF32形2灯 高出力形	器具型番 LB321 LEDベースライト 直付 富士型 人感センサー付 HF32形1灯 高出力形
LEKT415323N-LS9 XF430KEN LE9 MY-H430430/N AHTN ERK9820W/A+FAD786NA	LEKT416323YN-LD9 XFX430KNN LE9 ERK9636W+RK586W+FAD786NA	LEKT415323YN-LD9 XFX430KNN LE9	LEKTW415324N-LS9 XLW433KENZ LE9 MY-EH430530/N AHTN ERK9878SA+RAD837N	LEKTW415694N-LS9 XLW463KENZ LE9 MY-EH430530/N AHTN ERK9878SA+RAD835N	LSS9-4-30 LN
器具型番 LB321S LEDベースライト 直付 富士型 人感センサー付 HF32形1灯 高出力形	器具型番 LB322 LEDベースライト 直付 富士型 HF32形2灯 高出力形	器具型番 LB322W LEDベースライト 直付 富士型 防湿・防雨形 SUS HF32形2灯 高出力形	器具型番 LC161 LEDベースライト 埋込 下面開放 HF16形1灯 高出力形	器具型番 LC321 LEDベースライト 埋込 下面開放 HF32形1灯 高出力形	器具型番 LC321X LEDベースライト 埋込 下面開放 調光形 HF32形1灯 高出力形
LDS1-LSS9-4-29 LN	LSS10-4-65 LN	LEKTW423694SN-LS9 XLW462DENT LE9 MY-EV470531/N AHTN ERK9871SA+RAD835N	LEKTW423694SN-LS9 XLW462DENT LE9 MY-EV470531/N AHTN ERK9871SA+RAD835N	LRS6-2-15 LN	LRS6-4-30 LN
器具型番 LC322 LEDベースライト 埋込 下面開放 HF32形2灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1235 LRS3-4-65 LN	器具型番 LC322X LEDベースライト 埋込 下面開放 調光形 HF32形2灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1235 LRS3-4-65 LX	器具型番 LD321 LEDベースライト 埋込 下面パネル HF32形2灯 高出力形 埋込穴寸法: 150×1235 LRS3-4-65 LX	器具型番 LD321X LEDベースライト 埋込 下面パネル 調光形 HF32形1灯 高出力形 埋込穴寸法: 150×1235 LRS6SA20-4-28 LN	器具型番 LD322 LEDベースライト 埋込 下面パネル HF32形2灯 高出力形 埋込穴寸法: 150×1235 LRS6SA20-4-28 LX	器具型番 LD322C LEDベースライト 埋込 下面カバー クリーンルーム用 HF32形2灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1230 LRS3SA20-4-66 LN LEER-42501-LD9+LEEM-40693N-01 XFX466ZEN LE9 MY-BC470432/N AHTN
器具型番 LD322X LEDベースライト 埋込 下面パネル 調光形 HF32形2灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1235 LRS3SA20-4-66 LX	器具型番 LU19X LEDベースライト 直付 トラフ 調光形 HF16形1灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1235 LRS3SA20-4-66 LX	器具型番 LU37X LEDベースライト 直付 トラフ 調光形 HF32形1灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1235 LRS3SA20-4-66 LX	器具型番 LVeA LEDベースライト 直付 トラフ HF32形1灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1235 LRS3SA20-4-66 LX	器具型番 LYeA LEDベースライト 直付 トラフ HF32形1灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1235 LRS3SA20-4-66 LX	器具型番 LYeB LEDベースライト 直付 トラフ HF16形1灯 高出力形 埋込穴寸法: 220×1230 LRS3SA20-4-66 LN LEER-42501-LD9+LEEM-40693N-01 XFX466ZEN LE9 MY-BC470432/N AHTN
LEKT207163N-LD9 XFX210NEN LA9 MY-L215430/N AHZ ERK9661W+FAD774NA+FX552W	LEKT407323N-LD9 XFX430NEN LA9 MY-L430430/N AHZ ERK9636W+FAD786NA+FX552W	LSS1-4-30 LN	LSS1-4-30 LN	LSS1-4-30 LN	LSS1-2-15 LN

* 形状は参考とし相当品を使用すること。

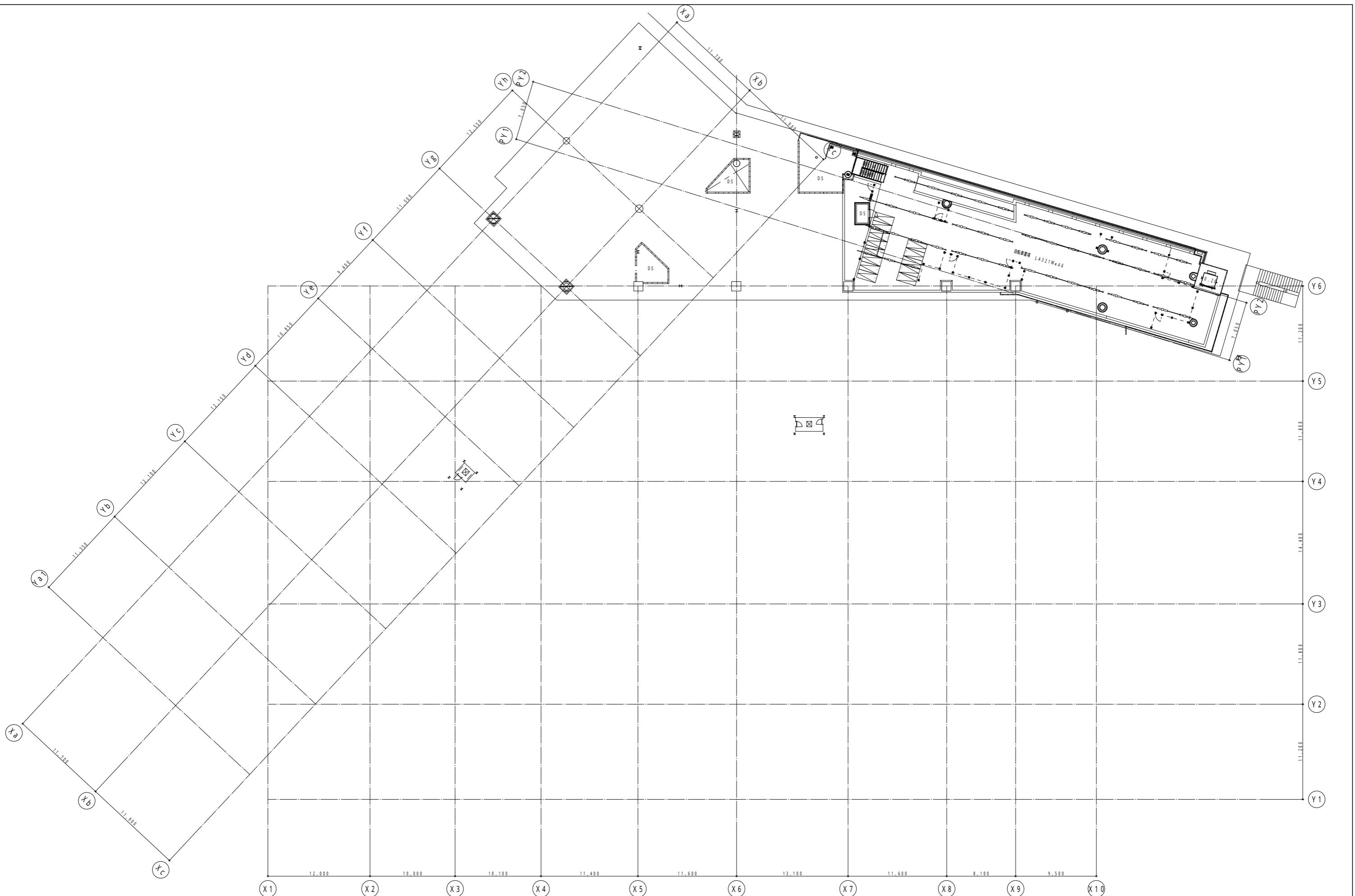
照明器具姿図

* 形状は参考とし相当品を使用すること

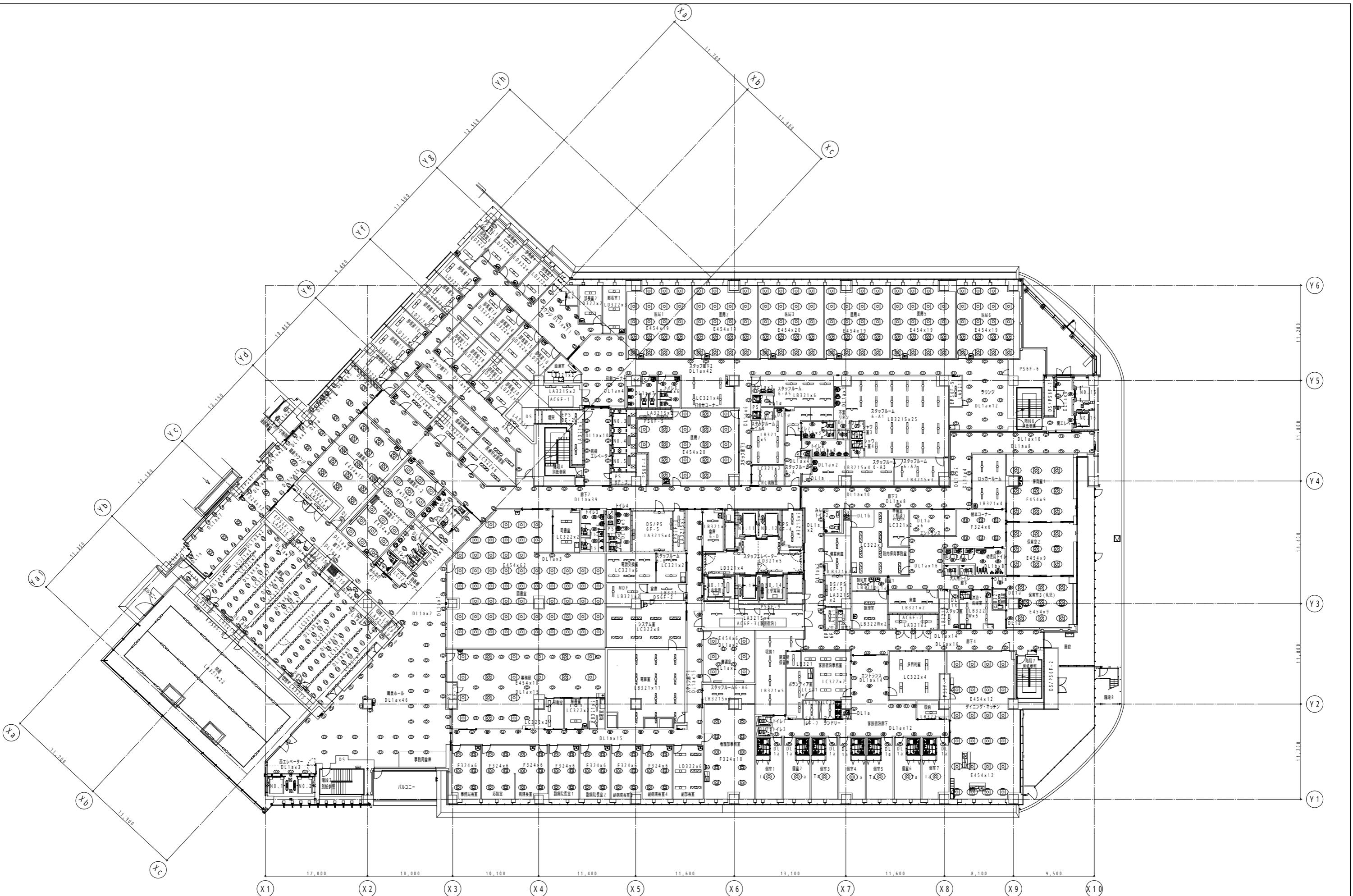
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 山口	管理幹 岩波	主幹 藤村	主査 ○	担当 中村	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1: NS A3: NS	工事名称 25 小兒医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号 E-06
						設計年月日 R7.12.26				図面名称 改修後 照明器具姿図(2)		



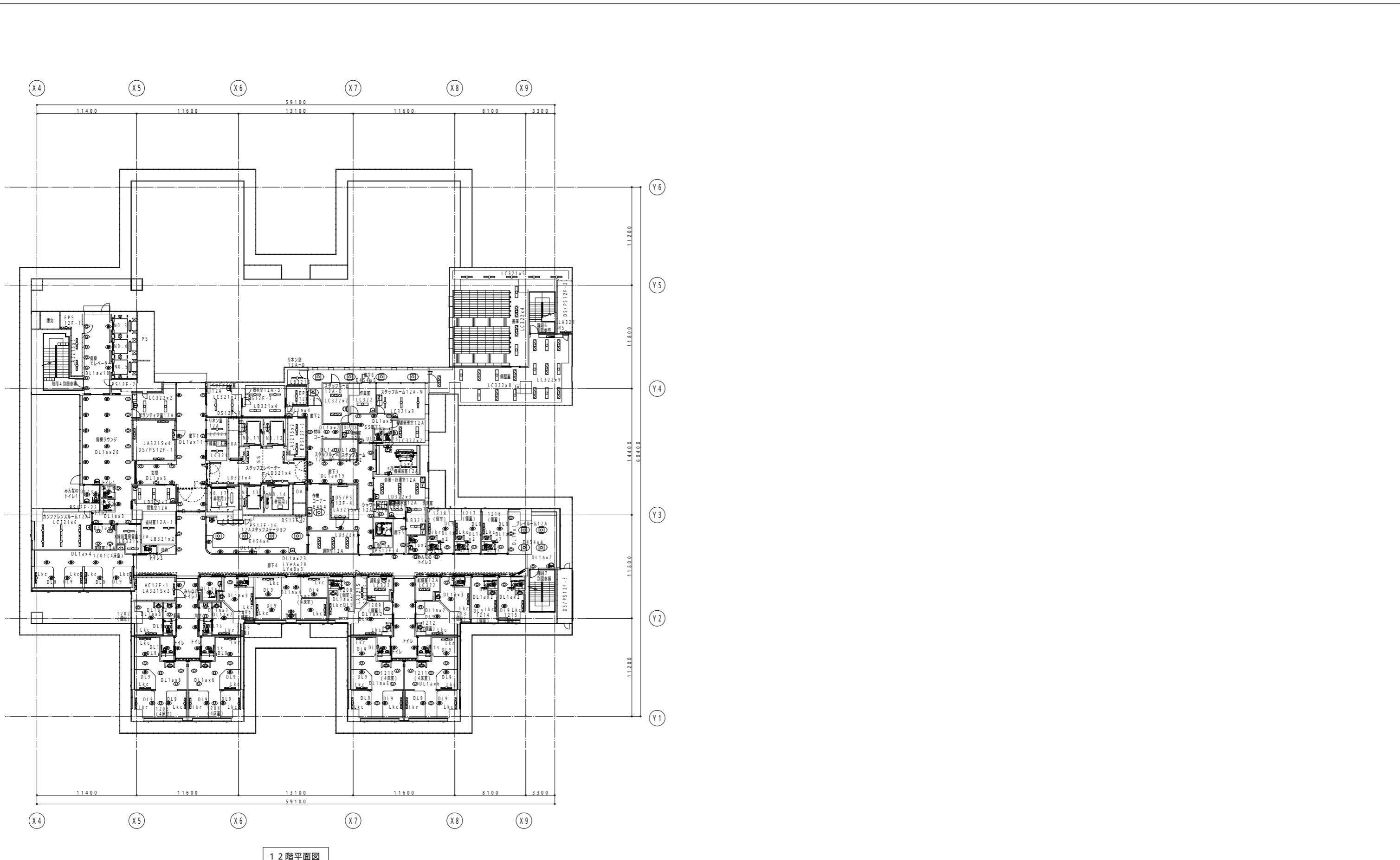
本部長	音理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 2.5 小兒医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	山口	岩波	藤村	○	中村	晃設備設計事務所				改修後 1階 電灯設備図	E-07



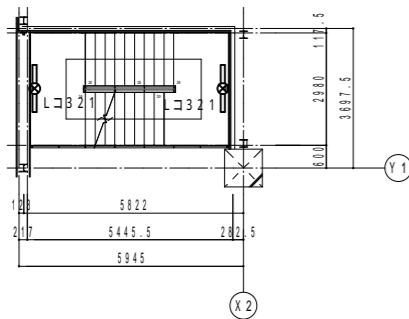
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	菅理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号 E-08
	山口	岩波	藤村	○	中村		設計年月日 R.7.12.26					



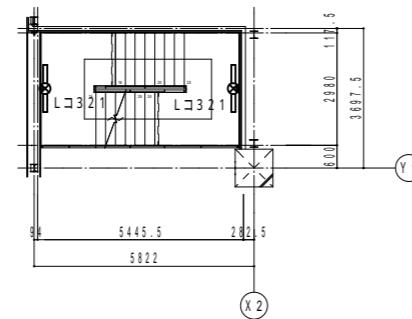
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 菅理幹	主幹 ○	主査 中村	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号 E-09
					山口 岩波 藤村						
										設計年月日 R7.12.26	図面名称 改修後 6階 電灯設備図



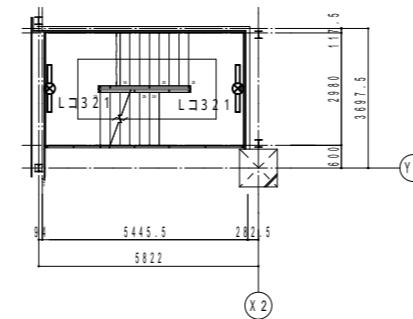
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	部長	副理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
						晃設備設計事務所						
										設計年月日 R7.12.26	図面名称 改修後 12階 照明設備図	E-10



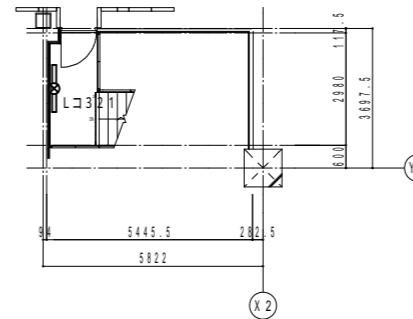
M2階平面図 S=1/100



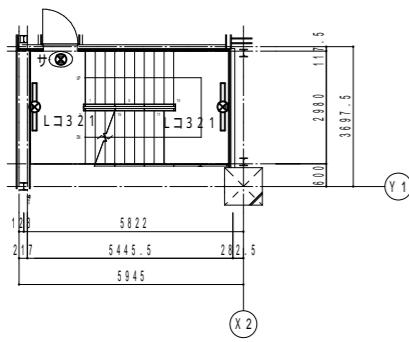
M4階平面図 S=1/100



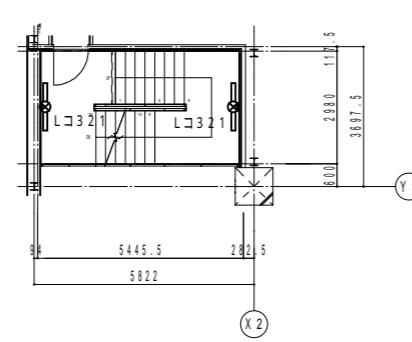
M6階平面図 S=1/100



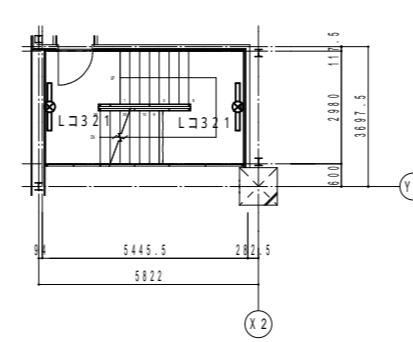
8階平面図 S=1/100



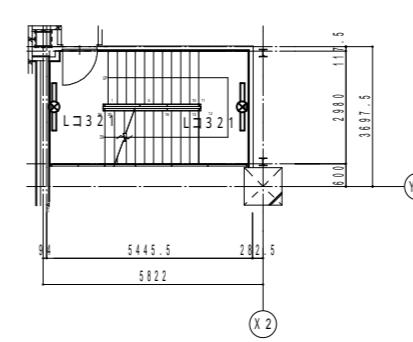
1階平面図 S=1/100



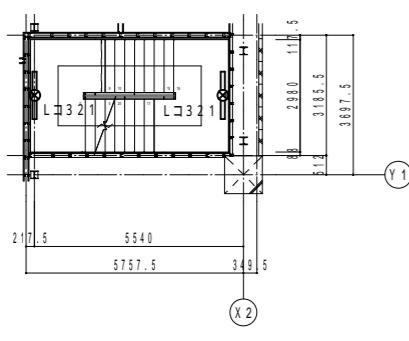
3階平面図 S=1/100



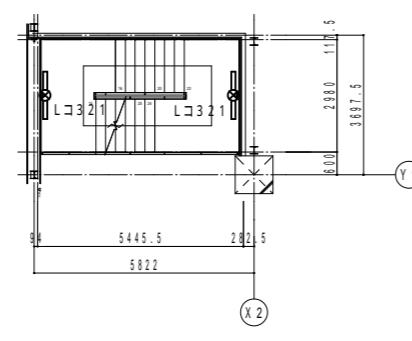
5階平面図 S=1/100



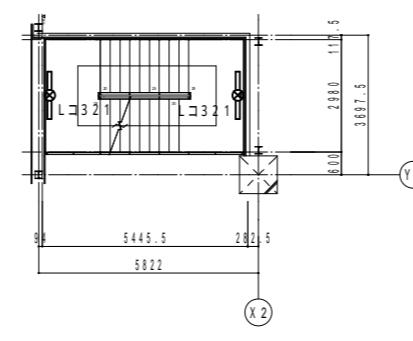
7階平面図 S=1/100



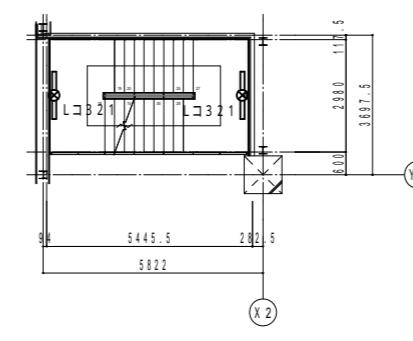
M1階平面図 S=1/100



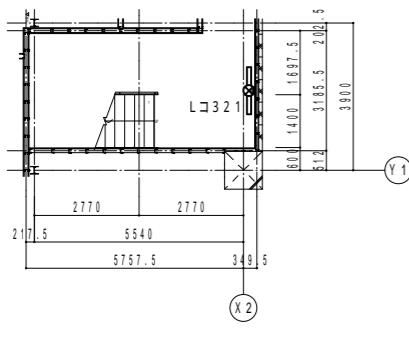
M3階平面図 S=1/100



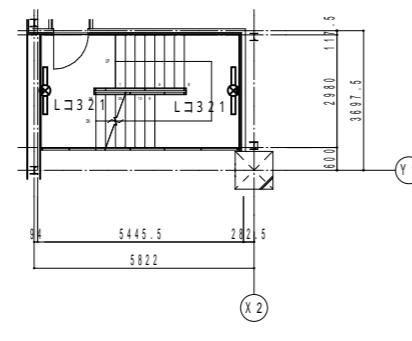
M5階平面図 S=1/100



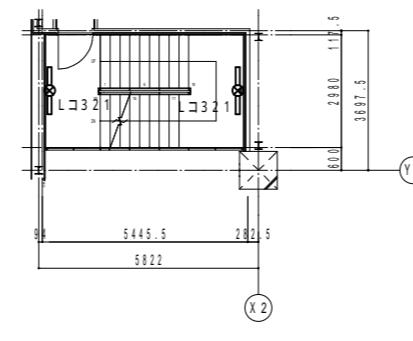
M7階平面図 S=1/100



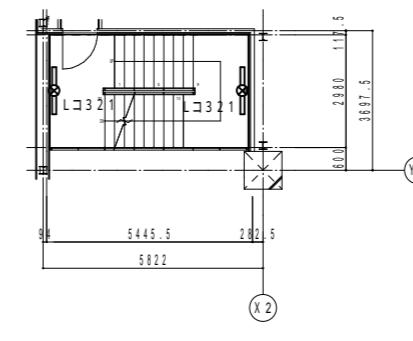
B1階平面図 S=1/100



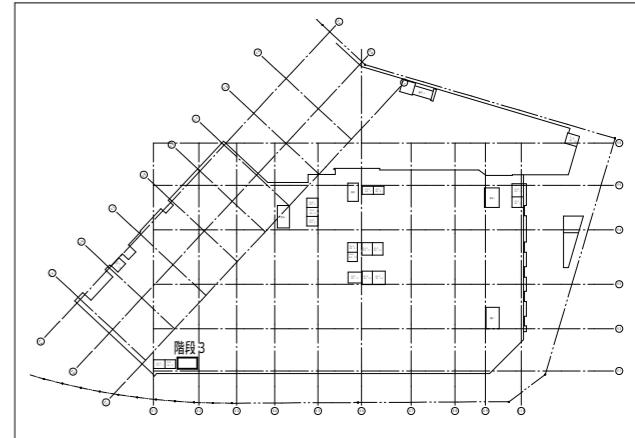
2階平面図 S=1/100



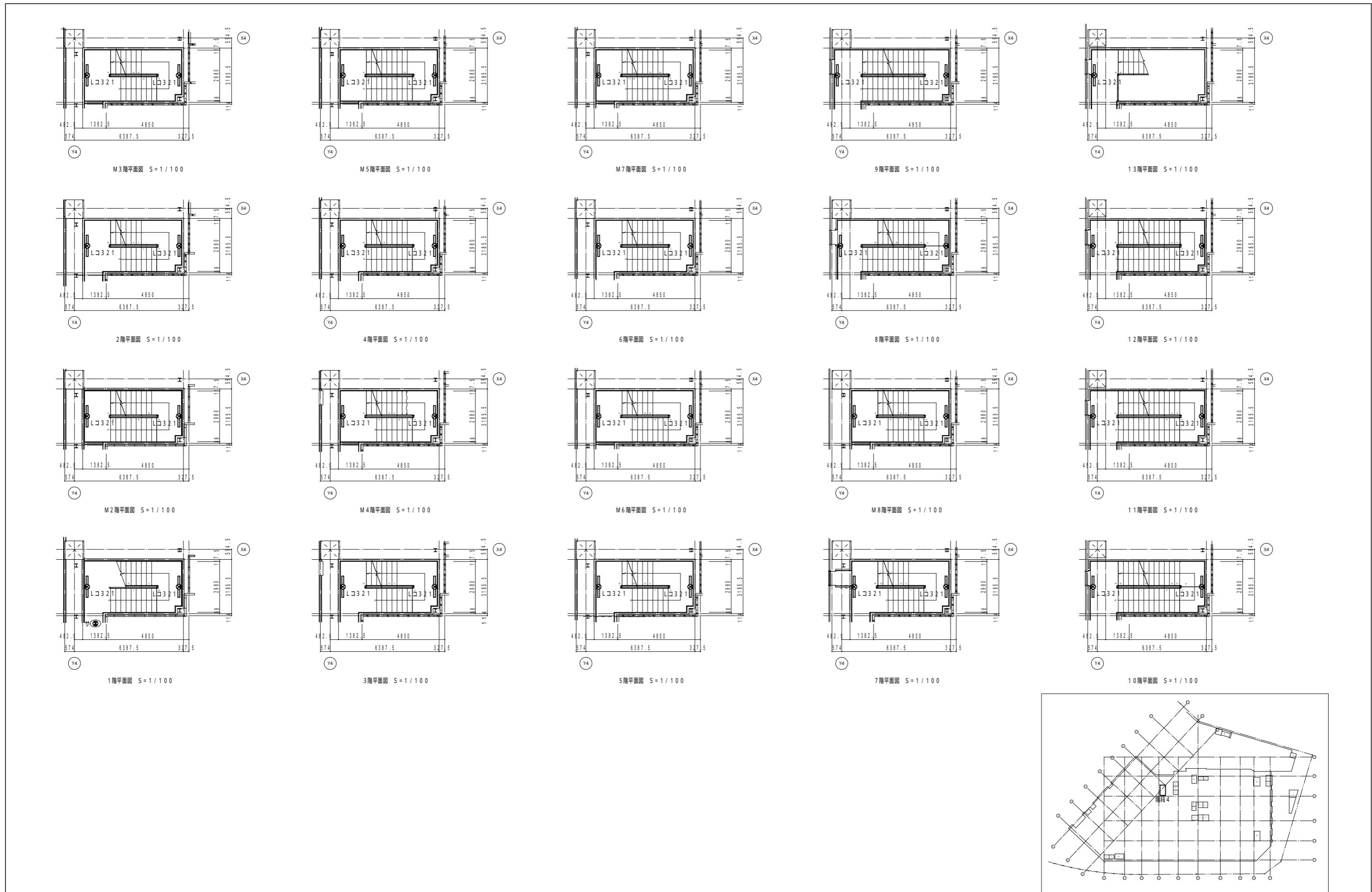
4階平面図 S=1/100



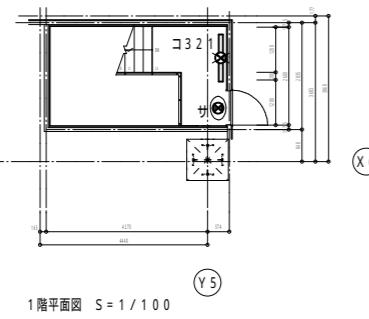
6階平面図 S=1/100



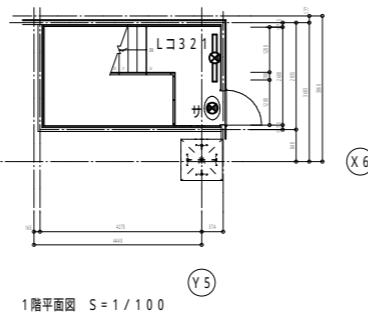
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	菅理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
	山口	岩波	藤村	○	中村					設計年月日 R.7.12.26		



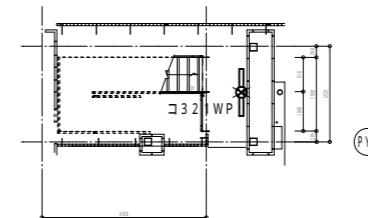
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 山口	審理幹 岩波	主幹 藤村	主査 ○	担当 中村	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	工事名称 2.5 小兒医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
										設計年月日 R7.12.26	図面名称 改修後 階段4 筒灯設備図	E-16



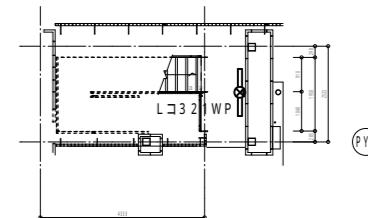
1階平面図 S = 1 / 100



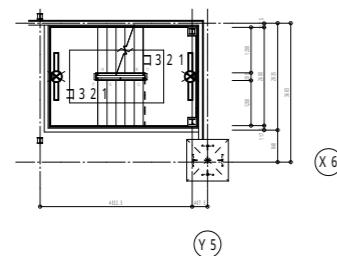
1階平面図 S = 1 / 100



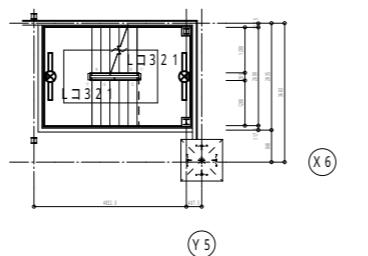
2階平面図 S = 1 / 100



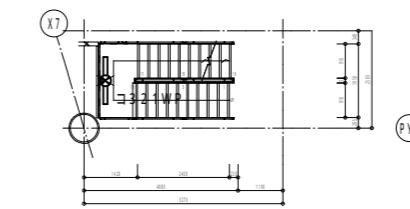
2階平面図 S = 1 / 100



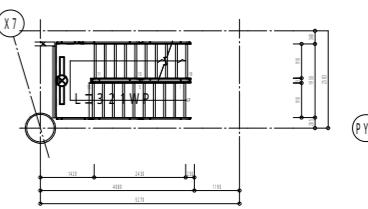
M1階平面図 S = 1 / 100



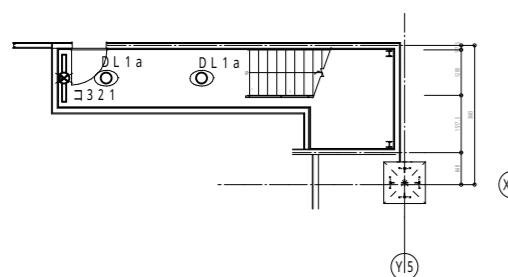
M1階平面図 S = 1 / 100



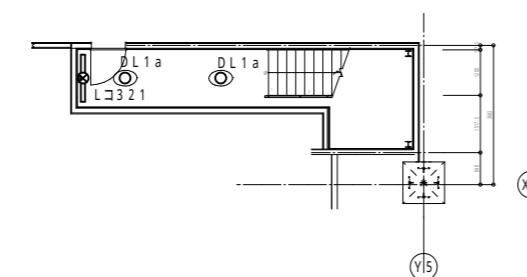
M2階平面図 S = 1 / 100



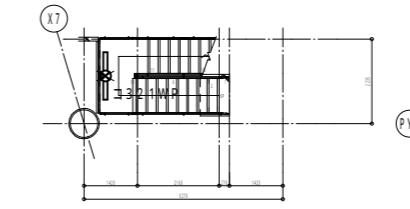
M2階平面図 S = 1 / 100



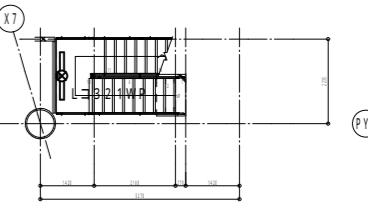
B1階平面図 S = 1 / 100



B1階平面図 S = 1 / 100



1階平面図 S = 1 / 100



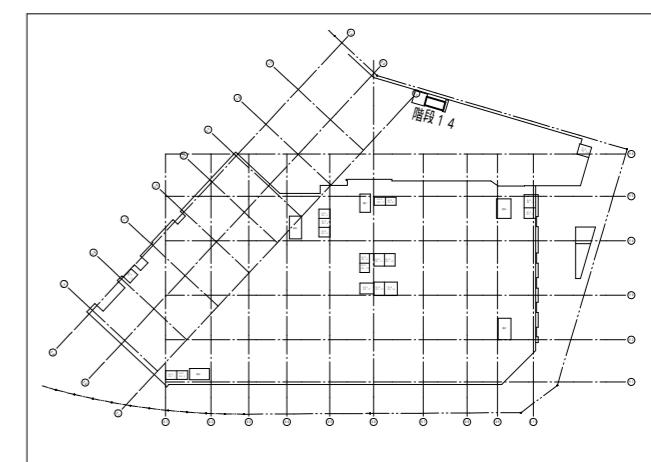
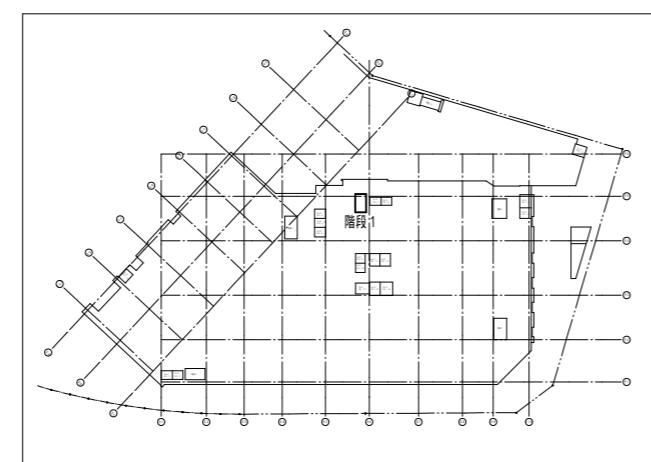
1階平面図 S = 1 / 100

改修前 階段 1

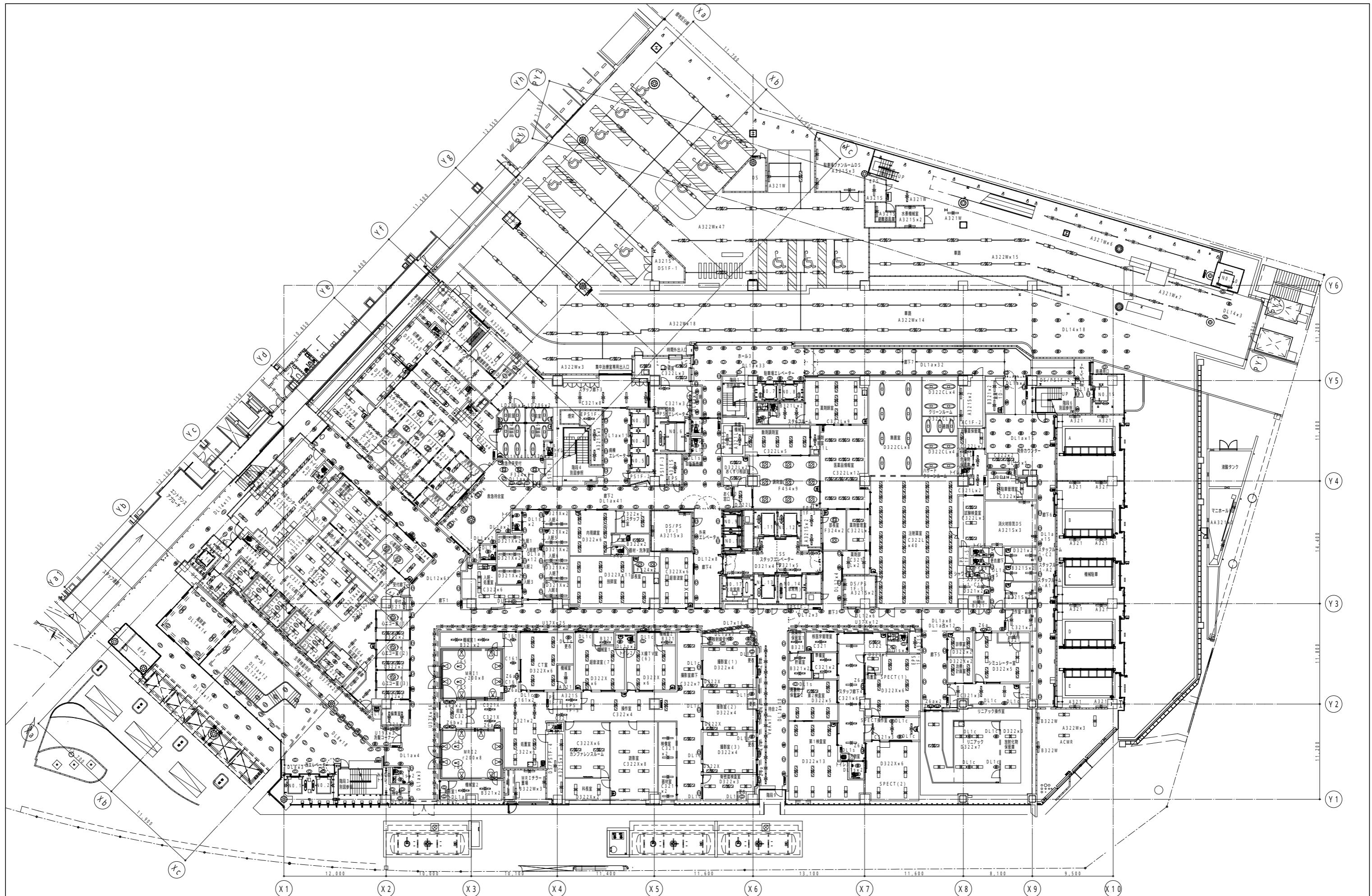
改修後 階段 1

改修前 階段 1 4

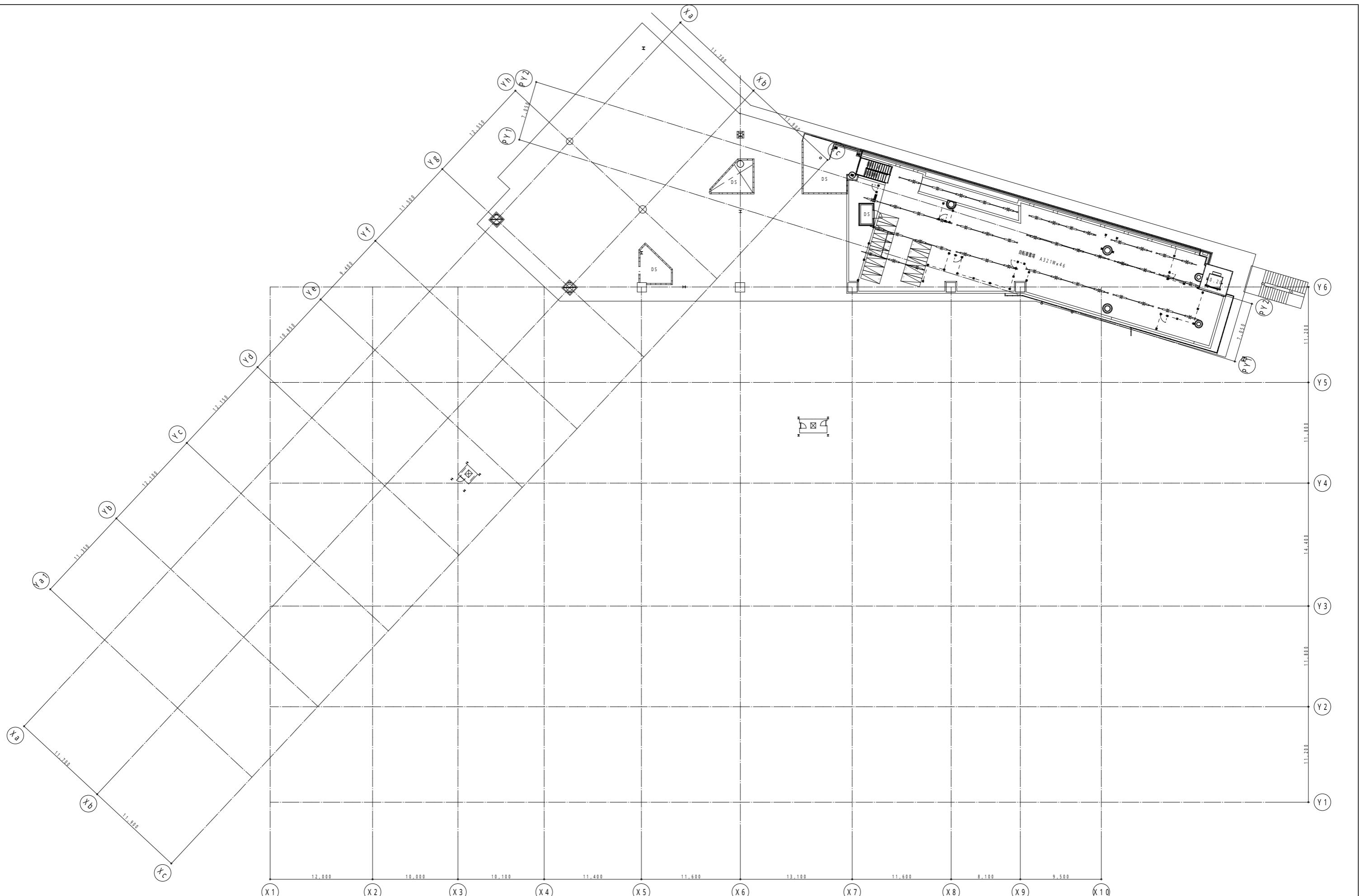
改修後 階段 1 4



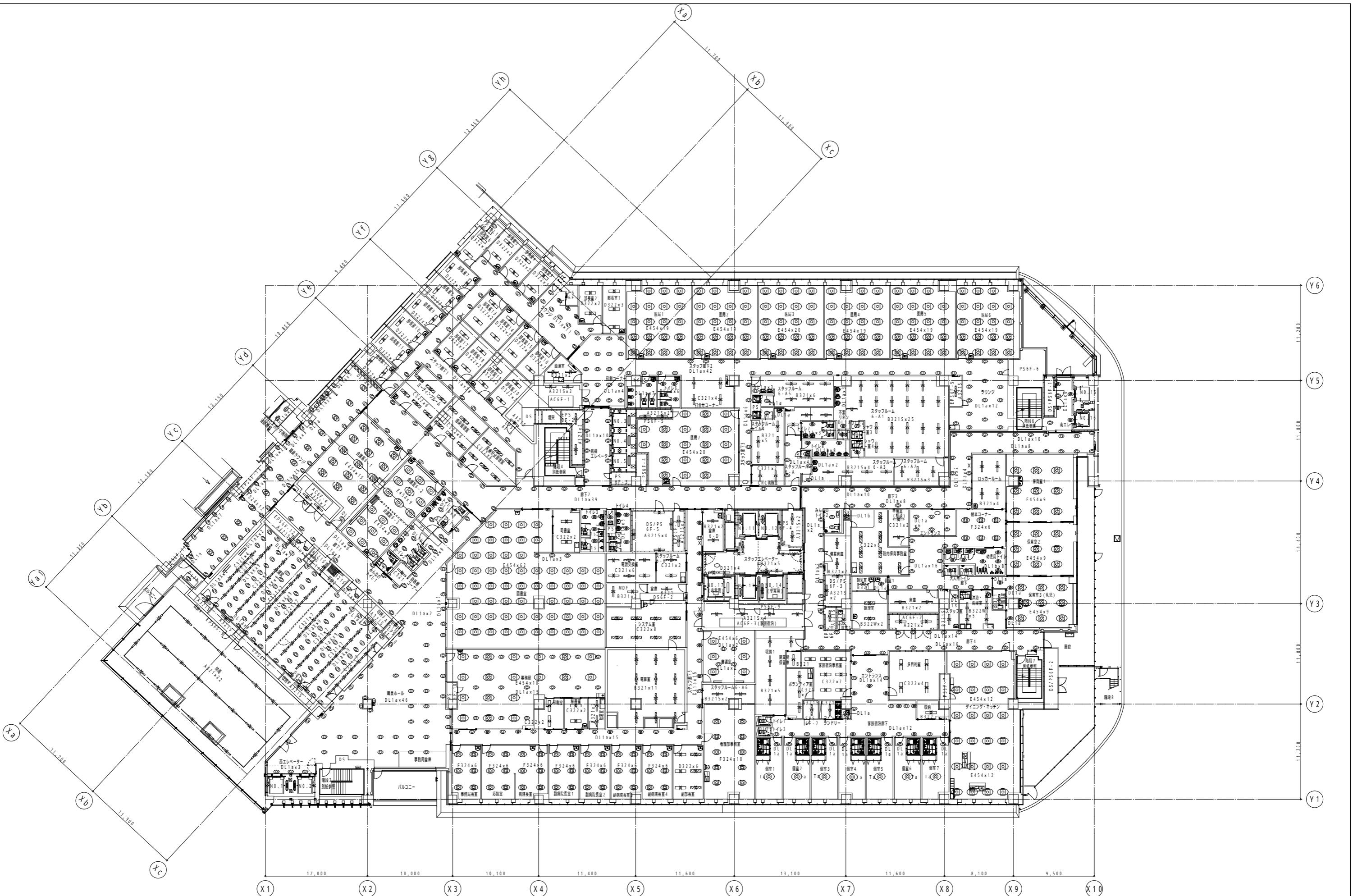
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 岩波	督理幹 藤村	主幹 ○	主査 中村	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	工事名称 2.5 小児医療センター 照明設備改修工事	図面番号
										設計年月日 R.7.12.28	図面名称 改修前後 階段 1・階段 1 4 平面図	E-19



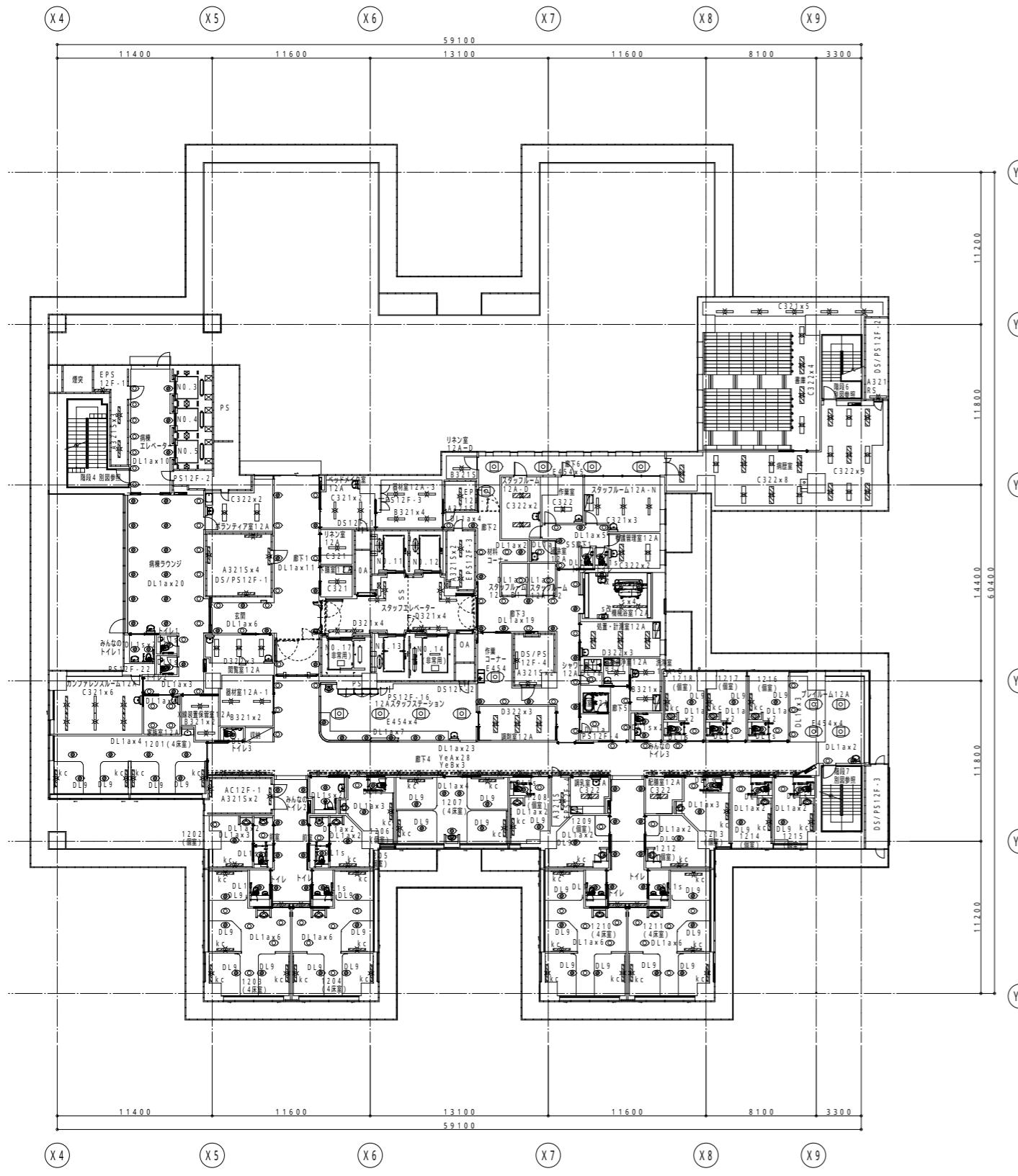
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 菅理幹	主幹 藤村	主査 ○	担当 中村	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計 製図 照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 25小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号 E-20
								設計年月日 R.7.12.26	図面名称 改修前 1階 電灯設備図



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 菅理幹	主幹 ○	主査 中村	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
山口 岩波 藤村									設計年月日 R.7.12.26	図面名称 改修前 M2階 照明設備図	E-21

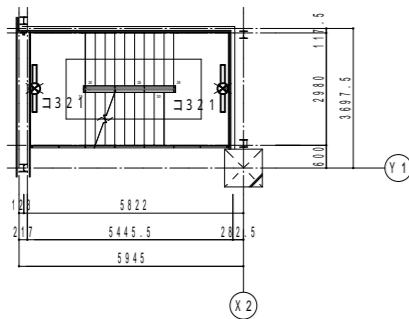


地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
	山口	岩波	藤村	○	中村							
										設計年月日 R.7.12.26	図面名称 改修前 6階 電灯設備図	E-22

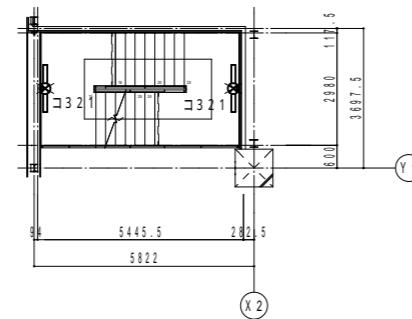


1 2 階平面図

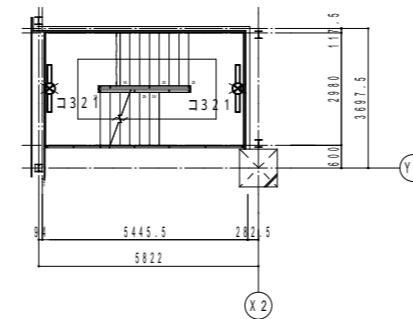
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	部長 山口	管理幹 岩波	主幹 藤村	主査 ○	担当 中村	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 25 小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号 E-23
						設計年月日 R7.12.26				図面名称 改修前 12階 電灯設備図		



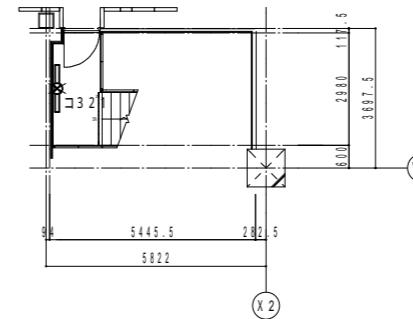
M2階平面図 S=1/100



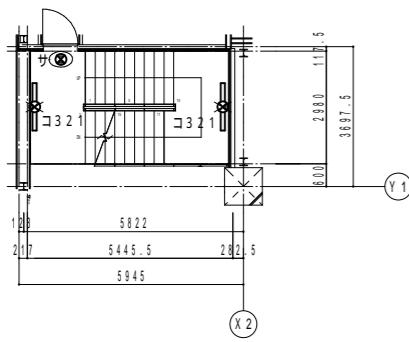
M4階平面図 S=1/100



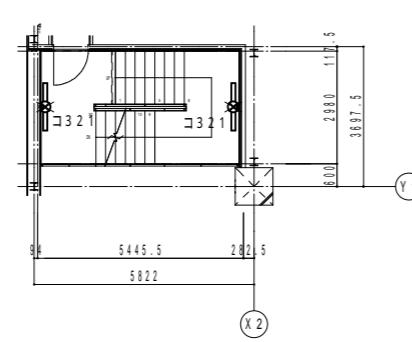
M6階平面図 S=1/100



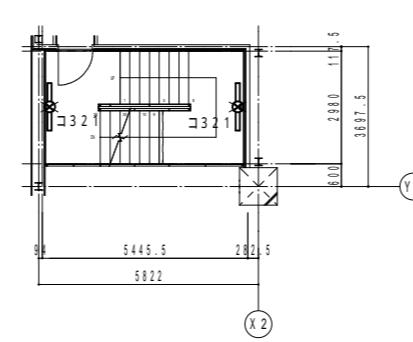
8階平面図 S=1/100



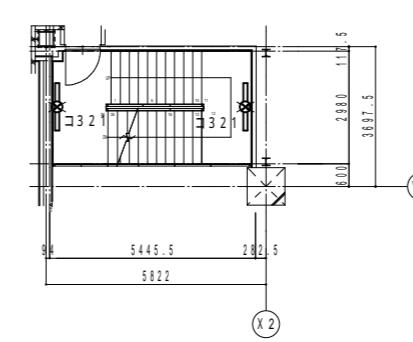
1階平面図 S=1/100



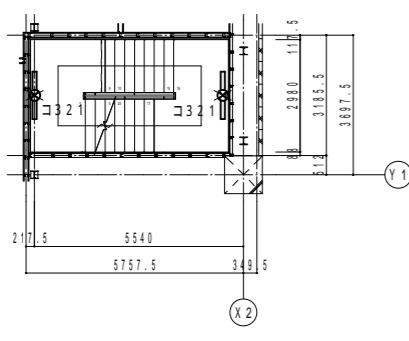
3階平面図 S=1/100



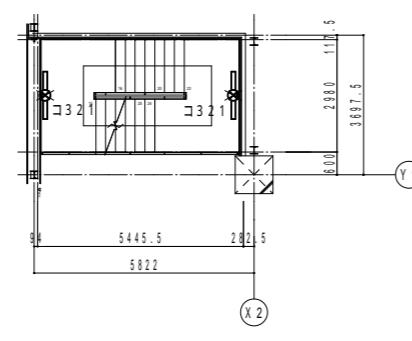
5階平面図 S=1/100



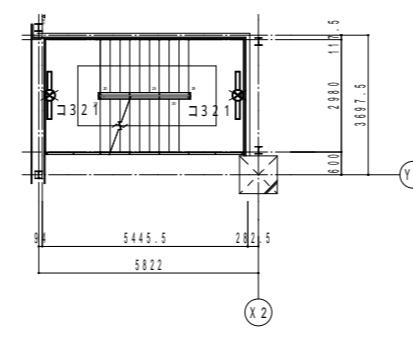
7階平面図 S=1/100



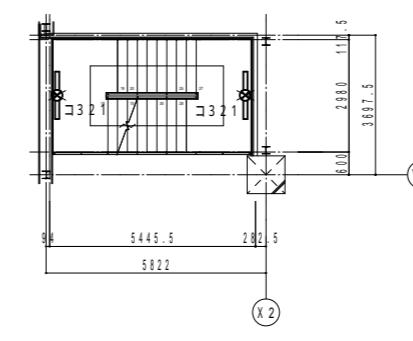
M1階平面図 S=1/100



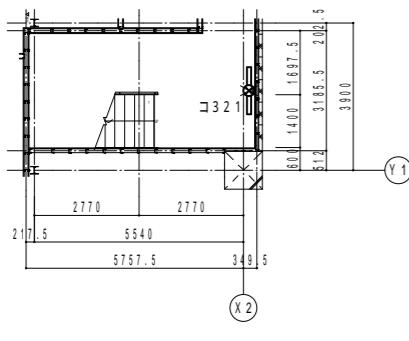
M3階平面図 S=1/100



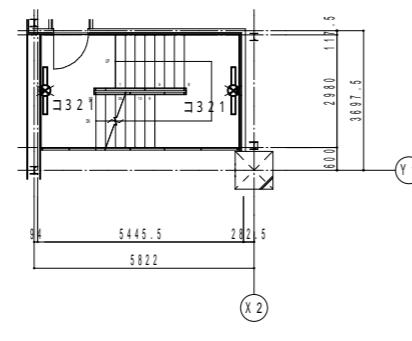
M5階平面図 S=1/100



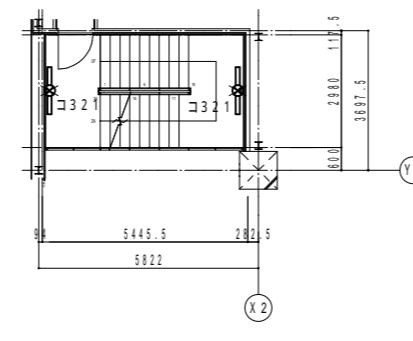
M7階平面図 S=1/100



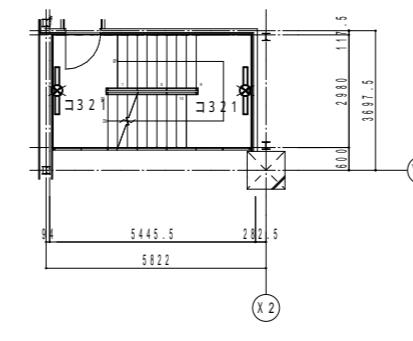
B1階平面図 S=1/100



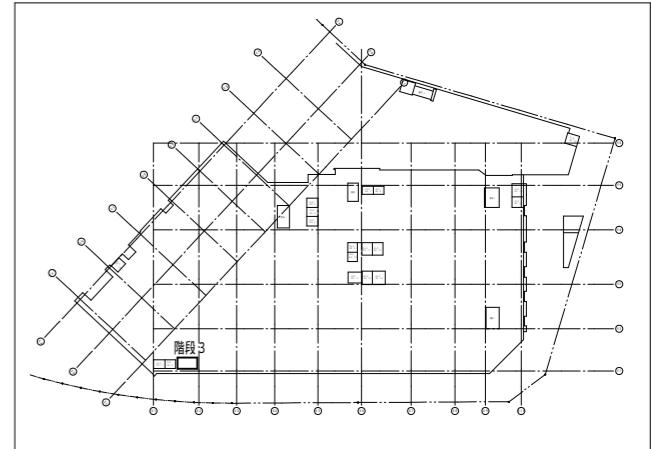
2階平面図 S=1/100



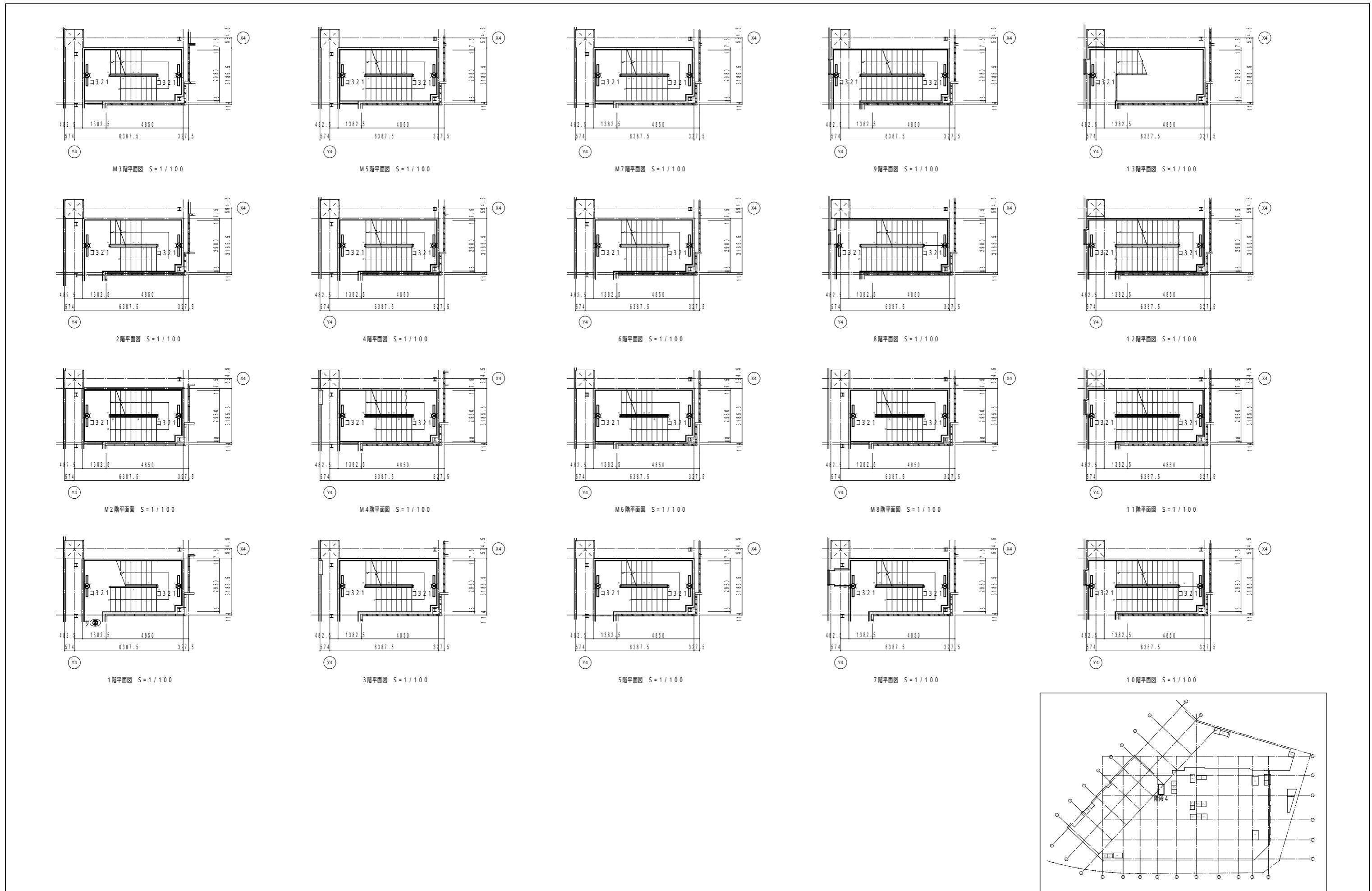
4階平面図 S=1/100



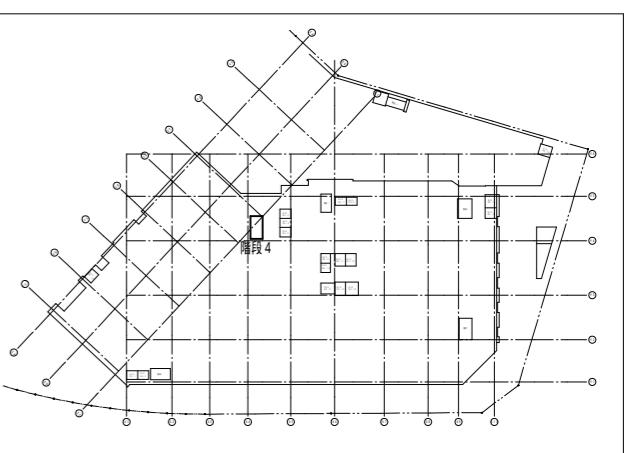
6階平面図 S=1/100

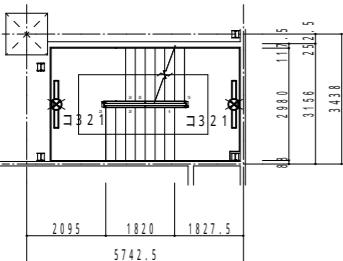


地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 岩波	審理幹 藤村	主幹 ○	主査 中村	担当	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
										設計年月日 R.7.12.26	図面名称 改修前 階段3 照明設備改修工事	E-28

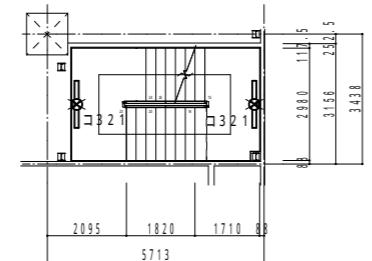


地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 山口	審理幹 岩波	主幹 藤村	主査 ○	担当 中村	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計	製図	照合	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	工事名称 2.5小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号 E-29
										設計年月日 R7.12.26	図面名称 改修前 階段4 筒灯設備図	

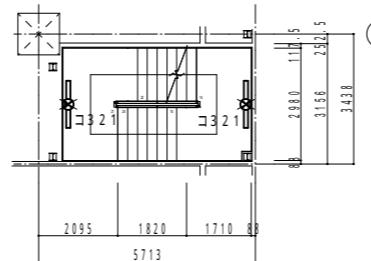




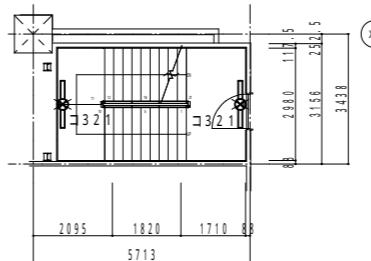
M 4 階平面図 S = 1 / 100



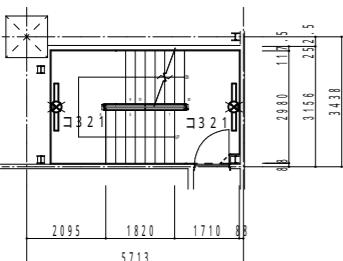
M 6 階平面図 S = 1 / 100



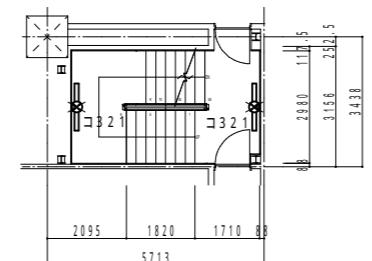
M 8 階平面図 S = 1 / 100



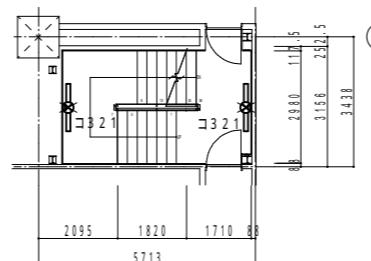
11 階平面図 S = 1 / 100



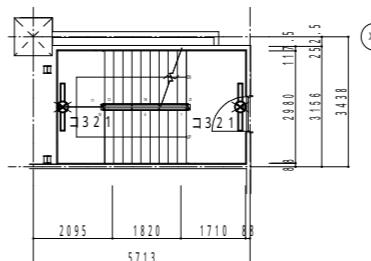
3 階平面図 S = 1 / 100



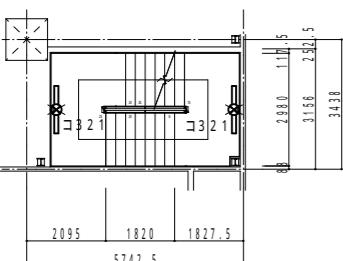
5 階平面図 S = 1 / 100



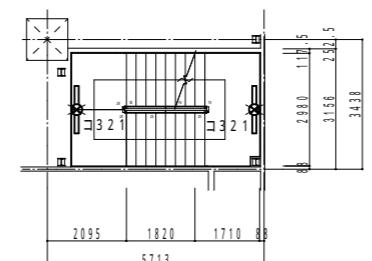
7 階平面図 S = 1 / 100



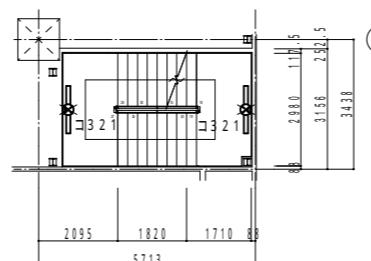
10 階平面図 S = 1 / 100



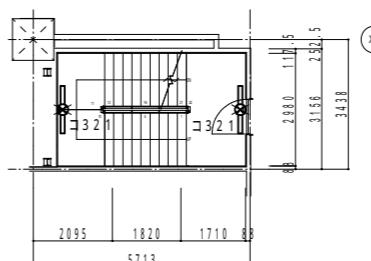
M 3 階平面図 S = 1 / 100



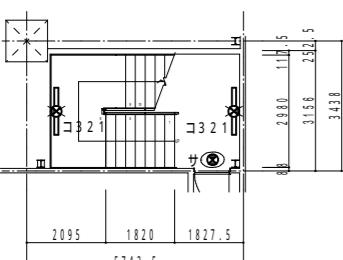
M 5 階平面図 S = 1 / 100



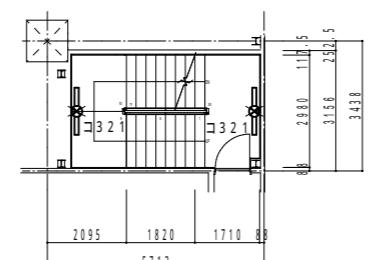
M 7 階平面図 S = 1 / 100



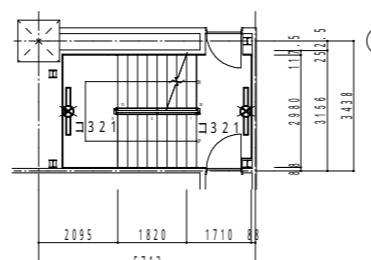
9 階平面図 S = 1 / 100



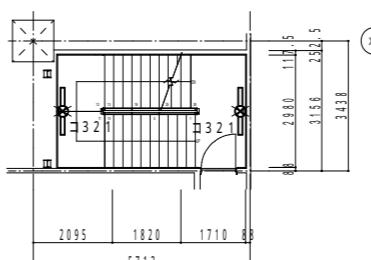
2 階平面図 S = 1 / 100



4 階平面図 S = 1 / 100

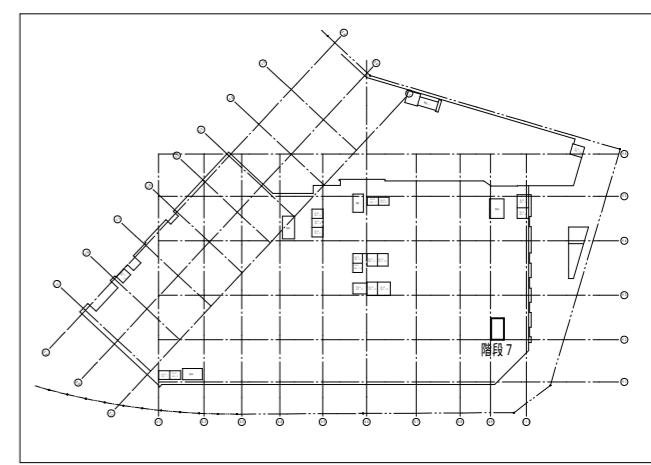


6 階平面図 S = 1 / 100



8 階平面図 S = 1 / 100

12 階平面図 S = 1 / 100



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 岩波	審理幹 藤村	主幹 ○	主査 中村	担当 山口	一級建築士事務所 晃設備設計事務所	設計 製図 照合	縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	工事名称 2.5 小児医療センター病院本棟 照明設備改修工事	図面番号
								設計年月日 R.7.12.26	図面名称 改修前 階段7 照明設備図	E - 3 1